

パレスチナ・レバノン・日本 子どもたちの 絵画展



毎年夏、日本の美術家たちがレバノンの難民キャンプで子どもたちに絵画指導を続けてきました。上條陽子さんが中心になって作った「パレスチナのハートアート」グループは、2000年から活動を開始。最初の年はガザのアトファルナろう学校などで指導をしましたが、ガザの状況が緊迫したため、その後は当会のコーディネートでレバノンの難民キャンプに場所を移して、指導を続けてきました。これまでレバノンに10箇所ある難民キャンプのほとんどで小学生から20代の若者までを集めて、1箇所ですら3日から1週間のワークショップを開催。

はじめて水彩や油彩に触れたり、

彫刻刀やはさみを使ったり、カラージュや立体を作ったり、マーク作り、集団での製作など……。普段絵を描いたりすることのない子どもたちですが、できた作品はどれも素晴らしいものです。大胆な線と色が魅力的です。

今年10年目にあたって、日本人アーティストたちは記念の展示会を計画しています。当会も全面的にバックアップ。7月の末に、ベイルートにある大きな体育館ほどの展示室が2つと千人規模の劇場を有する「ユネスコ・ホール」という立派な施設で大規模な展示会を開きます。パレスチナ・日本・レバノンの1000点以上の子どもたちの作品

を展示予定で、それにむけて今年の夏もキャンプでワークショップを開催。会場でもワークショップを計画しています。

このイベントには、日本から音楽家も参加予定です。ウード奏者の常味裕司さん、打楽器の和田啓さん、ボーカルの松本泰子さんです。現地の子どもや大人の演奏とどんなコラボレーションになるか楽しみです。この展示会を成功させるために、ぜひ、皆様もご協力ください。また応援Tシャツを作りましたので、ご支援をお願いいたします。夏以降、日本各地でも展示会が予定されますので、お近くの方はぜひお出かけください。



ベイルートでの展示会「はばたけ子どもたち」

7月28日、29日、ベイルート ユネスコホール
28日にはコンサートなどのイベントも同時開催

◆ 日本での開催予定 ◆

- 8月 9日～14日 — 東京・銀座 ギャラリー1枚の絵「パレスチナのハートアート展」
- 9月 15日～30日 — 北海道・深川市美術館「パレスチナのハートアート展」
- 9月 10日～20日 — 石川・金沢芸術村5PIT ギャラリー「寺尾ユリ子の活動展」の内で
(寺尾さんは指導者の一人)
- 11月 15日～28日 — 香川・丸亀市 ギャラリー風「パレスチナのハートアート展」

※ ベイルートでの絵画展には国際交流基金の助成を一部受けていますが、たくさんの経費がかかります。絵画展実現のために皆様のご寄付・ご協力をお願いいたします。また各地での絵画展の開催にもご協力ください。詳しいことはお問い合わせください。